

「将来決する重要な2年間」

竹屋氏、“選ばれる大学”へ協力呼び掛け

木下統晴前理事長の退任を受け、新たに就任した竹屋元裕理事長＝学長兼任＝のお披露目式が6月27日（金）、50周年記念館であり、あいさつに立った新理事長は「皆さんと一緒に、10年後、20年後も選ばれる大学を目指したい」と語り、協力を求めました。



お披露目式で、
三つの基本構想を提示する竹
屋新理事長

あいさつの中で、竹屋理事長は、定員に対する入学者の割合（収容定員充足率）が1.15と好調だった本年度の実績を紹介。一方で、収支に対する将来的な懸念、競合大学の公立化による学生募集への影響、少子化の急激な進行を挙げ、「この2年間が本学の将来を決する大変な重要な時期」との認識を示しました。

これを踏まえ、「学部の魅力、競争力の向上」「社会の要請に応えるリカレント（スキルアップ）教育の積極的な展開」「大学運営の質・生産性の向上とチャレンジする組織風土の醸成」の三つの基本方針と、①時代や社会のニーズ

を捉えた学部教育の再構築、②産官学の連携強化による教育・研究の充実、③大学院・キャリア教育・通信教育の充実強化、④DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進、⑤人事制度・組織体制の新たな構築—の5本柱からなる重点的取り組みを提示しました。

具体的取り組みとして、竹屋理事長は、産官学連携センターやDX推進室の開設、博士課程、社会人向け資格対策となる「細胞検査士コース」の設置などの構想を披露。「三つの基本構想と五つの柱に沿っていろんな改革を進めたい」と語りました。（NL編集部）

交流、理解深める10日間に

韓国・大邱保健大 交換研修生 4 人が来学

韓国・大邱保健大学からの交換研修生4人が来熊し、2日（水）、1204・1205会議室で行われたウェルカムパーティーに臨みました。

研修生は1年から3年生で、11日（金）までの研修期間中、本学の講義・実習に参加するほか、熊本県内の企業や医療機関など5カ所を見学する予定です。また、サポート学生や韓国文化研究クラブのメンバーとの交流を深めながら、華道や茶道などの日本文化も体験します。

ウェルカムパーティーでは、竹屋元裕学長が「滞在中は、勉強とともに、本学学生との交流を通して友達を作ってほしい」と歓迎の言葉を述べました。その後、研修生が一人ひとり「はじめまして」などと流暢な日本語で自己紹介をすると、会場に集まった教員や学生たちは驚いた様子で聞き、大きな拍手を送っていました。

引き続き、参加者全員で記念撮影を行い、料理を囲んでの歓談がスタート。最初は緊張した面持ちの

研修生たちでしたが、すぐに学生たちと打ち解け、好きなアーティストの話などで盛り上がる姿も見られました。（NL編集部）



ウェルカムパーティーで、竹屋理事長・学長からの歓迎のあいさつを聞く大邱保健大学から交換研修生たち

これまでの研究内容や病理学の楽しさなどについて
学生に語り掛ける竹屋理事長・学長



Dive! LSP「トップ講話」

学ぶことの意味考える

Dive! LSPプログラムのひとつである「トップ講話」が6月30日（月）、I300講義室Lで開催され、竹屋元裕理事長・学長が「学ぶことの意味とは？」と題して全学の1年次生に向けて語りました。

冒頭、竹屋理事長は、熊本出身で「近代日本医学の父」として知られる北里柴三郎の生い立ちや功績に触れるとともに、師のマンズフェルトとの対話を引用しながら、柴三郎が「医学また学ぶに足る」との心境に至った経緯を紹介しました。

さらに、竹屋理事長自身が「病理学」の道に進む要因となった祖父の竹屋男綱・元銀杏短期大学理事長・学長とのエピソードを披露。学びを続ける中で出会った恩師たちとの秘話や、これまでの研究内容、病理学の楽しさなどについて時折懐かしそうな表情を見せながら語りました。学生たちはノートにペンを走らせたり、スライドを熱心に見つめたりと、真剣なまなざしで人生の先輩の話に聞き入っていました。

(NL編集部)

交通安全講習会に150人超

自転車の違反にも反則金「今まで以上に気をつけて」

交通安全講習会が6月27日（金）、50周年記念館であり、車やバイク、自転車で通学する150人以上の学生たちが参加しました。

登壇した熊本北合志警察署交通第一課の荒牧めぐみ巡査部長は、来年度から自転車の違反に反則金が課せられることを踏まえ、「自転車は便利なものですが、時には人の命を奪う凶器になることがある。今まで以上に気をつけて運転をしてほしい」と呼びかけました。

冒頭、生々しい実際の事故の映像を見せ、「大通りに出るときは歩行者に気をつけてほしい」などと呼び掛けながら、運転の際の注意点を説明しました。また、県内の交通事故死者数の推移、熊本北合志署管内の交通事故について詳しく解説。横断歩行者の保護、あおり運転・飲酒運転の禁止を改めて周知しました。さらに、交通事故で高校生の娘を失った父親の手紙を読み上げ、学生たちにハンドルをにぎることの重さについて改めて問い直しました。

(NL編集部)



150人を超える学生が
参加した交通安全講習会

嘘の画面、警告音で不安あおる

ネット
よもやま話

5

サポート詐欺

皆さんは「サポート詐欺」をご存じでしょうか？ 昨年度もこの時期にお知らせした話題です。教職員だけでなく、学生からも複数問い合わせがありましたので改めて説明いたします。

警察庁によりますと、サポート詐欺とは「パソコンでインターネットを閲覧中に、突然、ウイルス感染したかのような嘘の画面を表示させ、警告音を発生させるなどして、ユーザーの不安を煽り、画面に記載されたサポート窓口に電話をかけさせ、サポートの名目で金銭を騙し取しとったりする手口の詐欺」のことです。

この嘘の画面は特定のサイトへのアクセスや、特定の単語を検索した場合だけに表示されるものではありません。いつでも誰

でもこの嘘の画面が表示される可能性があります。

嘘の画面が表示された場合は、インターネットに接続しているブラウザを速やかに終了して欲しいのですが、ブラウザの「×」ボタンは表示されていないことがほとんどです。そのような場合は「Ctrl」＋「Alt」＋「Delete」を同時に押してタスクマネージャを起動し、利用しているブラウザを選択して、「タスクの終了」を選択することでブラウザを終了させることができます。

不安な場合はIR・情報システム室までお問い合わせください。

(共通教育センター 山鹿 敏臣)

キャンパステラスが開室して今年度で10年目となる。4年前には1号館から現在の図書館棟に移転。新たな環境の中で、各種発表会、研究会、研修会等の研究、学修活動が活発に行われている。

開室以来途切れることなく続くのが、図書館主催の「私の部屋でランチを」だ。学生、教員、職員の垣根を取り払った内容は、すこぶるバラエティーに富んでいる。

その名の通り、昼休みの短い時間を利用しての開催だ。ランチをとりながら「誰でも気軽に参加を」というのがモットー。そのハードルの低さから、開催回数も5月末で72回を数えた。

長続きのひけつは、その場の和やかな雰囲気かもしれない。登壇者が教職員の場合、たとえ専門

的な話であっても、発せられる言葉の裏に、小説にも勝るとも劣らない人生経験が見え隠れする。

学生たちだって負けてはいない。学友会のメンバーは「献血を知ろう」というテーマで若者に向けて献血を呼び掛けた。ピア・サポーターは「一人暮らし応援隊」と銘打った先輩たちのサポート講演に続き相談会を開催。短期留学を経験した学生からは、韓国、タイ、アメリカでの体験が毎回、リアルに聞かれる。そして、クリスマスには、コーラス部や吹奏楽部、教員などによるコンサートも。

内容の幅が広く、自由な雰囲気の「私の部屋でランチを」。次回は何？と、毎回ワクワクしている。

银杏アラカルト

■大澤准教授に熊本県看護協会会長表彰 看護学科の大澤早苗准教授が熊本県看護協会会長表彰の受賞者に選ばれ

ました。本表彰は、長年にわたり多大なる貢献をした熊本県看護協会会員に送られるものです。6月21日

(土)には熊本市中央区にある熊本県立劇場で表彰式が行われました。

(NL編集部)

インフォメーション

週間行事予定(7月7日～7月14日)

7/7(月)	学術講演会「改正薬機法—その意義と実際」
7/10(木)	木下統晴前理事長 退職講演
7/10(木)	韓国・大邱大学交換研修生さよならパーティー